

日本赤十字社神奈川県支部に「リチウムイオン蓄電池システム」

贈呈に伴う感謝状の受贈について

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、日本赤十字社神奈川県支部に対して、協会発足当初から継続して支援を行っています。

今年度も、被災地でのライフライン確保を目的として、特に医療現場で電源を確保することが難しく、従来の発電機では騒音や排気ガスなど救護活動への悪影響が課題であることから、リチウムイオン蓄電池システム3セットを贈呈しました。

これに対し、同日、黒岩祐治日赤県支部長から、感謝状をいただきました。

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 1. 日時 | 平成30年7月9日（月） |
| 2. 場所 | 神奈川県庁本庁舎3階 第2応接室 |
| 3. 感謝状贈呈者 | 日本赤十字社神奈川県支部 支部長 黒岩祐治(神奈川県知事) |
| 4. 受贈者 | 神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会 |

5. 概要

神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、昭和60年の協会設立以来、様々な社会貢献活動を実施してまいりましたが、日本赤十字社神奈川県支部に対しては、協会発足当初から継続して支援を行っており、これまで血液運搬車や医療器具などを助成してきました。

東日本大震災以後は、災害時対応の通信指令車、器材搬送車両、救急車など、災害現場で活用する車両をはじめ、被災者に配布する援護物資の整備、更に昨年は、発生が危惧される首都圏での大規模災害時に迅速な救護活動の現場に必要なエアータントの整備を支援しました。

今年度も、被災地でのライフライン確保を目的として、特に医療現場で電源を確保することが難しく、従来の発電機では騒音や排気ガスなど救護活動への悪影響が課題であることから、この度はリチウムイオン蓄電池を支援しました。

これに対し7月9日、神奈川県庁本庁舎第2応接室において、黒岩日赤県支部長から感謝状をいただきました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞・毎日新聞に掲載され、タウンニュースでも紹介されました。

